

会報

史学研究会例会

昭和四十一年十二月二日(土)

於 京大文学部第一講義室

時衆教団の成立

石田 善人氏

昭和四十二年二月四日(土)

於京大文学部第一講義室

章炳麟と辛亥革命

小野川秀美氏

(ともに発表内容は、論文として近く本誌に掲載予定)

学界消息

西洋史読書会

第一四回春季大会

四月二十九日(祝) 於・京大文学部第一講義室

恐怖政治とサンキュロット運動 岡本 明

ゲルツェンの「ロシア社会主義」論の成立

松原 広志

中山 章

労働代表委員会の成立について

初期メンボタミア史の再建に関する研究動向

中原与茂九郎

ミルトス派の宇宙観の生物的性格——宇宙観の合理化の過程についての一考察——

栗林 健

ソ連学界動向の紹介・その他(スライド使用)

岡本 哲男

東ドイツの事情(スライド使用)

瀬原 義生

広島史学研究会 大会

昭和四十一年十月二十九・三十日

於・広島大学文学部

〈シンポジウム〉「英国近代思想と東洋社会」

旧植民体制の諸問題

隅田 哲司

英国自由主義とその日本への「移植」

山下 浩

攘夷論と開國論

三上 嘉明

〈公開講演〉

マルサス「人口論」における歴史分析

羽鳥 卓也

孫文と中国革命

岩村三千夫

〈日本史部会〉

那珂博士の上世年紀考の盲点を指摘する

水野 惟之

天武紀の部曲について

八木 充

大仏造建に見る政治思想断面——仏教の権力

支配離脱の契機——

橋本 政良

今治藩地坪制度成立に関する一考察

青野 春水

近世初期における升の統制について

集田 嘉彦

近世中期における問屋経営の一型態——備後尾道の金屋「永代算用帳」を通して

畑中 誠治

安芸国賀茂郡広村における「農民的土地所有」の存在形態

小川 国治

伊能忠敬の測量事業

末中 哲夫

近世後期における鉄穴経営と村落構造

武井 博明

維新期の土地租税問題

武元 正雄

〈東洋史部会〉

十千の起源 試論

北宋の免行錢について

大西 正男

宋代黄河堤防考

古林 森広

元代における官吏の俸給に関する一考察

吉岡 義信

記注与撰述——中国理論史学上の一問題——

丹羽友三郎

鄒韜奮の思想変革について

高橋 武雄

〈西洋史部会〉

ランカスター朝における封建貴族の財政について

横山 英

尾野比左夫

イスラム・スペインにおける西歐への文化的
貢献について
J・ドミンゲス

「國王自由人」学説に関するソヴェト中世史
学界的動向に寄せて
鹿子木幹雄

ニューヨーク商業会議所設立の背景と独立革
命
仲田 光

一八三〇年代・英労働運動の一側面
大滝 正理

後期チャーターティストと改良主義
古賀 秀男

自由放任と国家干渉——T・H・グリーンの
国家論をめぐって——
若松 繁信

ドイツにおける「ブルジョア」諸政党の初期
の歴史について——その研究の問題視角を
めぐって——
高野 清

「ヴィルヘルム二世の時代」におけるドイツ
社会民主党
飯田 収治

ローザ・ルクセンブルクの革命論
大段佑一
クローチエとマイネツケ
吉武 夏男

〈地理学部会〉
広島・愛媛両県を中心とした観光客流動
植木 逸良

日本契約移民の社会地理学的研究——広島県
安佐郡高陽町旧田口村の場合——石川 友紀

水稲北限地域について（第二報）——北見市
の農業——
浅黄谷剛寛

沼津市の工業地理的考察
沢田 真養

播磨国揖保郡佐勢地における代の田積につい
て
水野 時二

日本における海岸砂丘形成に関する一考察
美多 実

鳥取県沖積平野の地形学的研究
成瀬 敏郎

阿武川上流域の水系変化
中田高・成瀬敏郎・加藤哲也

第三回沖繩伊平屋・伊是名地形調査概報
武永健一郎

四国内帯の Pelinont
赤木 祥彦

軟弱地盤と地域開発
門村 浩

〈考古民俗部会〉
一九六六年度帝釈峽遺跡群の調査研究
松崎寿和・杉原莊介・戸沢充則

潮見 浩・藤田 等

五日市町住吉縄文早期遺跡の調査
川越 哲志

広島県庄原市旧寺古墳をめぐる諸問題
榎 博自

備後北部出土古瓦の研究——いわゆる「水切り」
瓦を中心として——
松下 正司

〈社会科学教育部会〉
社会科学教育学の構想——その批判と立論の試
み——
森分 孝治

地理教育における都市の取扱いについて
北川 健次

地域相互理解と観光事業の地理学
野本 晃史

「現代社会」の考え方について——「倫・社」
教科書比較研究その五——
木山 良亮

社会科学における評価の一考察——中学校地理
的分野の読図指導を中心にして——
池田博重・清水孝一

ニューザム報告と歴史教育——イギリス歴史
教育の争点——
永井 滋郎

指導要領より見た小学校社会科学における政経
社的学習の系統
金子 廉

明治期以降我が国歴史教科書にみられる現代
史の推移とその内容の変化について
上野 実義

社会科学における統合的思考力に関する実践的
研究（中間報告）
内海 巖・上野実義・永井滋郎・
藤井千之助・太鼓矢晋・梶谷宏義